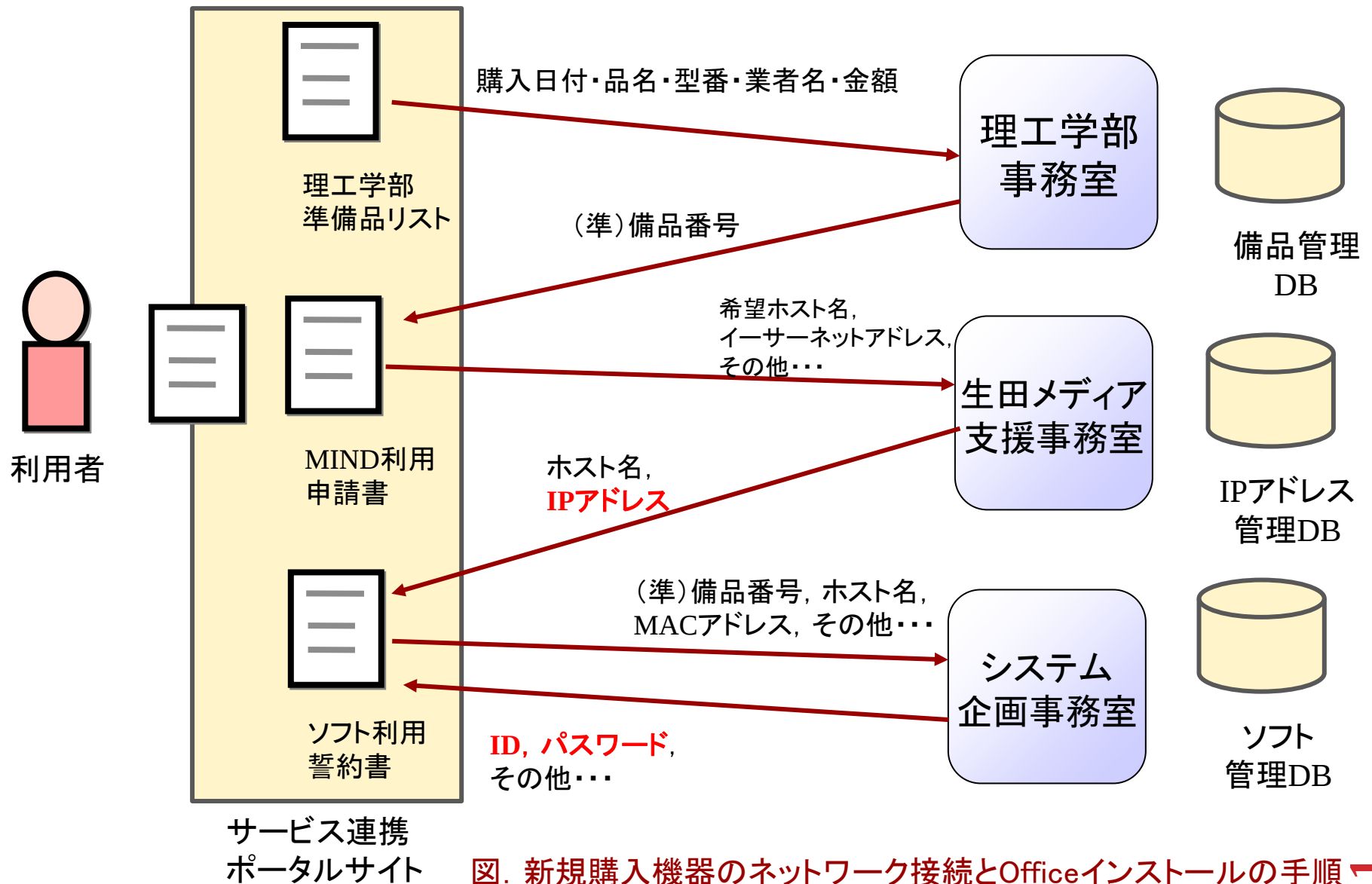


サービス連携の例: 機器申請 2011.8.23 V1作成

<フォーム定義+フォーム変換定義+ビジネスロジック>??



理工学部準備品リスト → 発注通知書 & 備品ラベル

理工学部準備品リスト

実験実習費

購入日付	品名	型番	業者名	金額
1/27	HP PC	dynabook R70/W2PA	東芝	7199,800
1/27	"	VAIO VPCZ14AGJ	Y-	7199,300
/				
/				
/				
/				
/				

・実験実習費で準備品支出【1件又は1組の価格が5万円以上20万円未満(消費税込)で耐用年数1年以上のもの】を購入した場合は、この用紙にご記入ください。

・形状、型番も詳しくご記入下さい。

・1件又は1組の価格が20万円以上(消費税込)のもので、耐用年数が1年以上の物件については、機器備品に該当します。一切調達委任の対象としません。
この場合は、購入する前に必ず事務室まで事前申請をお願いいたします。

※該当する項目に○をつけて下さい。

電	機	建	造	機	器	備	品	研	究	主	名	氏	名	
生	機	情	報	化	機	器	備	品	研	究	主	名	氏	名

納入場所 (6405)

発注通知書

明治大学総務部生田キャンパス課長

下記のとおり注文しました。

発注NO	21059000577	発注日	2011. 3. 17	発注金額	199,300
入力部	理工学部事務室	相手先	中野 武司	発注金額	

品名	規格	数量	単位	発注番号	調達番号
メーカー	仕様等		単価	予算主費	計 画
納入場所			金額	プロジェクト	内 訳
				固定科目	資産番号
パーソナルコンピュータ (ノート型)	VPCZ14AGJ	1	台	199,300	理工学部事務室
(生)第216405	理工学部【中野 武司】VAIO			199,300	実験実習費
					中野武司 研究室
					(実験実習)
					機 器 備 品 支 出
					92010-3-0001405

※ 納入物件には、確認しやすい位置に同封のラベルをはってください。
※ 合計金額には消費税を含みます。

明 治 大 学	
資産No.	92010-3-0001405 備 成 1 / 1
資産名	パーソナルコンピュータ (ノート型)
取得年度	2010 (資産種別: 備品3 (生田課用))
管理部署	理工学部事務室
設置場所	第216405

理工学部
準備品リスト

購入日付・品名・型番・業者名・金額

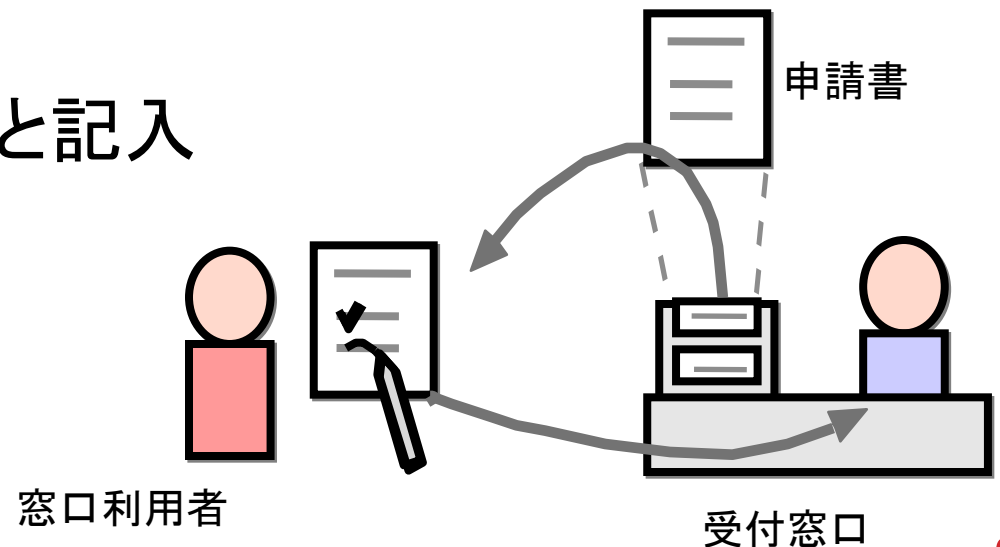
(準)備品番号

サービス授受のメタファー

「サービス授受＝窓口業務」

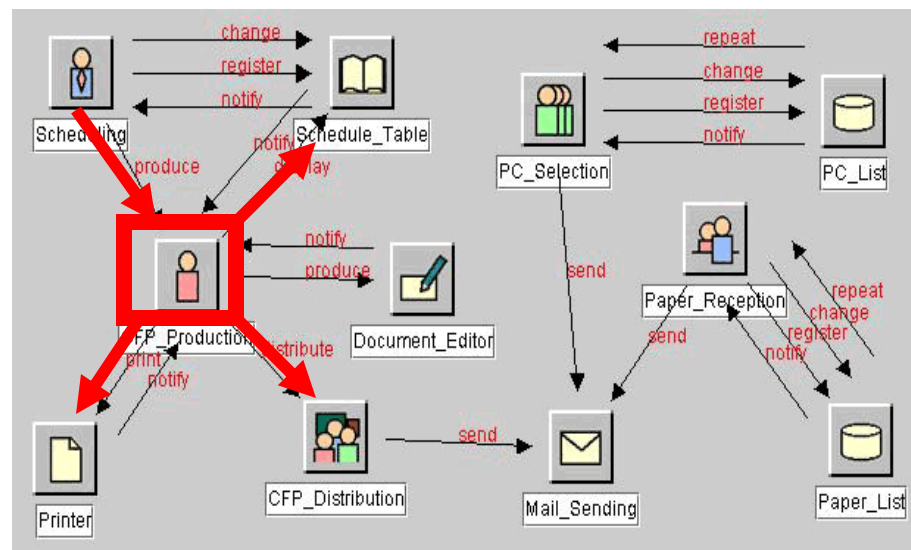
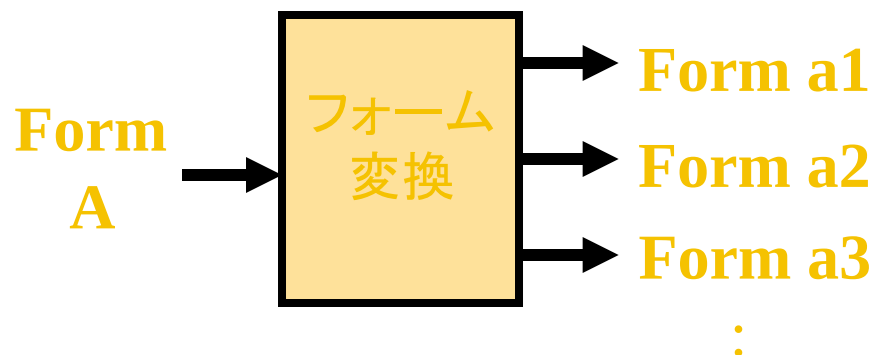
＜インタフェース：フォーム＞

1. 受付窓口の検索
2. フォームの取り寄せと記入
3. 受付窓口への提出



フォーム変換

- ＜ワークフロー＞ → ＜Webサービス＞
- ・ 業務コンポーネント → Web サービス
 - ・ メッセージフロー → フォームフロー
 - ・ メッセージ変換 → フォーム変換



モデル駆動型分析のまとめ

- Webアプリケーションにおける要求分析
 - ワークフローが本質的なアプリケーションではモデル駆動型分析が必要
 - 新規コンポーネントの要求仕様書は、フォーム定義主体で記述。(UI駆動型風)
 - ワークフローをWebサービス化すれば、エンドユーザ主導開発の実現可能性増大か。

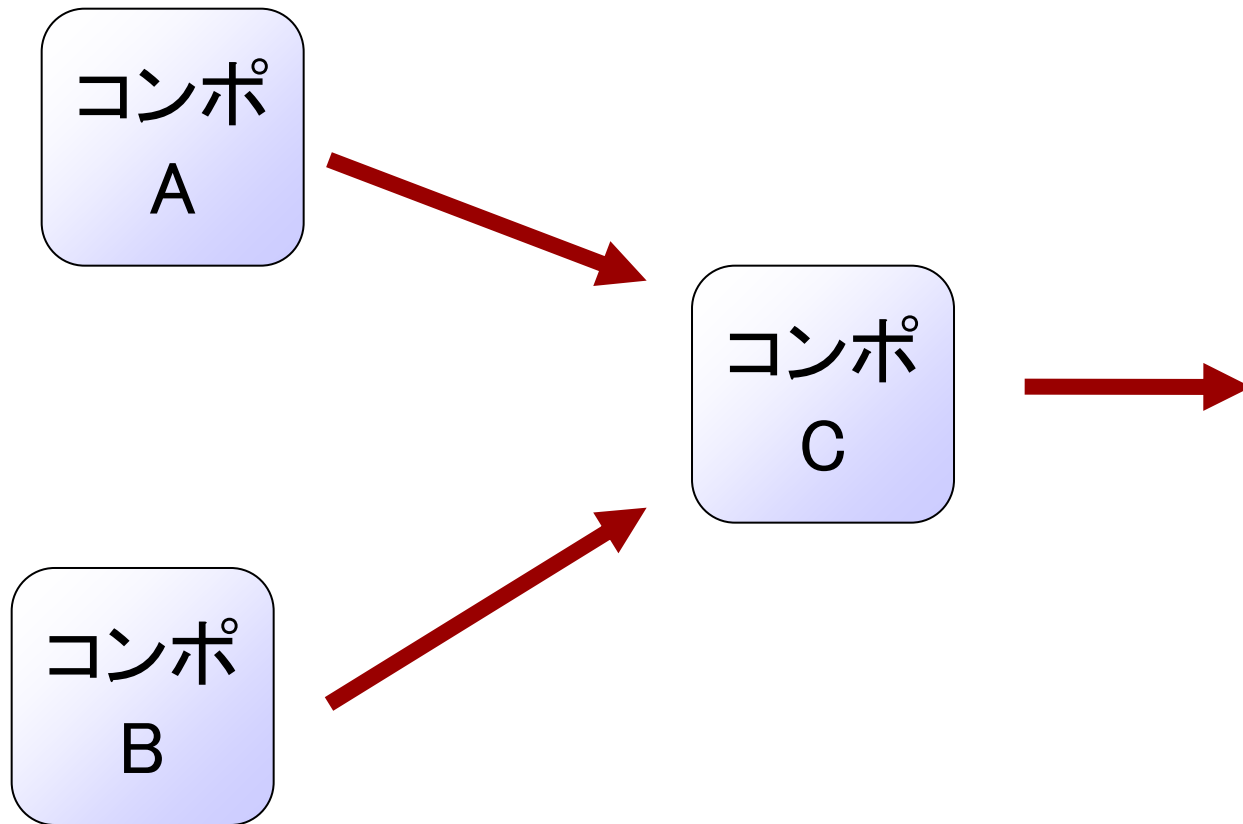
課題

注(CHU):

複数の処理単位を組み合わせてモデルを作成するための
ワークフロー言語の代わりに、
フォーム変換の合成を用いる。

エンドユーザにコンポーネントの要求仕様書が書ける？

<フォーム定義+フォーム変換定義+ビジネスロジック>



要求分析に関する考察

分析手順

1. 最上位(外部仕様定義):

UI駆動型分析=>フォーム定義

2. 詳細化(ワークフロー定義):

モデル駆動型分析=>Webサービス連携

フォーム定義群+フォーム変換定義

3. 手順2を再帰的に実施

(注)上記定義にビジネスロジックの付加